

国内研修 報告書

～行先～

徳島県勝浦郡勝浦町 田舎トライアルハウス坂本家

～期間～

8月22日～24日

～目的～

農村地域に移住した方の生活や苦勞などについて直接現地に赴き、
移住した方にお会いして話を聞いたり、体験などをして学習する。

現地に行って体験したことや学習したこと の詳細

今回の徳島県勝浦町での実習では、主に古民家の改修作業ということを目的にして、勝浦へ移住した石川ご夫妻の生活ぶりや勝浦について多くを学ぶことができました。

まず、勝浦や徳島について学んだことについて、地形的特徴は山が民家などの人々が生活する場所からもすごく近いということです。さらに山が傾斜であるので、それに適した作物としてみかんやスダチの収穫がさかんということです。勝浦では多くのみかんやスダチの木を見ました。さらに石川さんの畑で実際にスダチの収穫をさせていただきました。石川さんは元々みかん農園をつくって、栽培をしたいという目的で勝浦に移住されたということなので、たくさんのみかんの木がありました。それだけでなく、シソやスイカなど多くの作物も育てていました。

徳島県の河川については、川幅がかなり広いという特徴がありました。なので橋が多く存在するそうです。

人々の暮らしとして、徳島県は公共交通機関が少なく、移動は車で、車がなければ生活が不便というほど、車社会でした。今回の実習の移動のメインも車でした。

今回の活動は、徳島県勝浦町の田舎トライアルハウス坂本家という、石川ご夫妻が住んでいるお試し定住施設へ2泊3日の宿泊をしながらの活動でした。宿泊はもちろんのこと、徳島県産の作物を使用した料理などみんなと協力して作ったり、大浴場を提供していただいたりとか多くのことをサポートしてもらいながらの活動でした。研修の流れとしては、1日目に徳島空港へ到着して、勝浦に向かい、徳島県産の食事をとって、次の日の活動内容の確認のミーティングを行い、自己紹介をして徳島や勝浦についての説明、石川さんがなぜ移住をこの場所にしたのかなどのお話を聞いて終わりました。2日目に石川夫妻が民宿をひらく予定の100年前の古民家の改修作業をしました。具体的な内容は古民家の壁に白のペンキやセメントをヘラで塗っていくということだったのですが、なかなかその技を習得するのが大変でとても難しかったのですが、プロの方に多くのアドバイスをいただきながら、徐々にではありますがしっかり塗れるようになりました。かなりの面数の壁があったのですがみんなと協力しながら塗っていたので、ほぼすべての壁が完成しました。それらを昼食をはさみながら、午前と午後の2部に分けて行いました。壁塗りの間も勝浦での生活についての事柄を質問することができました。来年の春には完成することなので是非1度また訪れてみたいと思います。そして、石川さんが所有している畑でスダチの収穫作業を行いました。収穫したスダチはプレゼントしていただきました。その後、坂本家で協力して自炊をして食事を取り、2日目を終えて研修が終わりました。

農村地域への移住について、石川ご夫妻が徳島県の勝浦町を選択した理由として、みかん農園をひらきたいという明確な目標の中、それらができる場所を探しており、移住の人を募集していた勝浦に魅力を感じたからということでした。そして、移住について石川さんは、近年、地方に移住したいと考えている若者は多くなっているが数多くある移住先を選択するのはかなり大変で、決めたとしても、その後の生活や経済的なことでかなり苦労してしまうと言っていました。そのためには、ただ農村で農業をしながら生活していきたいなどの抽象的な考え方ではなく、主に何をして、どのように地域の人と関わりながら、どのように生計を立てていくのかなどしっかりとした明確な目標を立ててしっかり計画をしてから実行することが大切だと言っていました。住む場所一つ取っても、かなりお金がかかるし、現地の人と話し合わなければいけないので大変らしいです。石川さんの場合、計画した結果坂本家を見つけました。また、同じ目標を持った人と一緒に計画して実行することの大切さを知りました。石川さんは夫婦として坂本家に住んでいますが、元々大学で同じ意思をもった2人だったそうです。1人ではできないことも2人で協力すればできてしまうものだと言っていました。さらに、移住後の地域の人たちとのコミュニケーションについて、一番頼りになる上に一番助けてもらえるのはその地域住民の方々なので積極的にコミュニケーションを取っていかなければならないと言っていました。みかん農園のことについても畑や古民家の改修作業についても、やはり地域住民の方々の助けやアドバイスがなければ実現しなかったと言っていました。そのために多くのコミュニティや関係をつくることは、かなり重要とのことでした。積極的に自分から行かなければならないと言っていました。

研修を終えての感想

今回の研修で僕が何よりためになったのは、石川ご夫妻の移住についての話と農村地域の生活についてです。移住について多くの人は簡単に言うけれど、その大変さを身をもって知りました。みかん農園でみかんを収穫するのは簡単なことではなく、収穫の時期になるとかなりの労働をしなくてはならなくて、かなりの時間を費やすさなければならなくて大変だと思いました。しかし、その分収穫時期以外の期間ではまた別の農業をしたりといった、兼業的なこともできるので計画的に生計を立てられやすいということも学びました。今回の研修の2日目に古民家の改修のお手伝いに来ていただいた、木島さんのお店へ行く機会がありました。木島さんは5年ほど前に勝浦に移住してきたのですが、いつか田舎で自分のイタリアン料理のカフェの店を持ちたいという目標を抱えて、イタリアに修業した後、勝浦に店を持つことができた方で自分のペースでしっかり目標を実現している姿をみて憧れを持ちました。目標を持って、それに向かってちゃんと努力をすれば移住で成功するという大切なことを学びました。

移住後も石川さんの古民家のように新たな目標に向かって作業ができるのも、移住の魅力だと思いました。木島さんのカフェも、勝浦でカフェ自体が多くあるわけではないのでライバルが少ないという面ではすごく良いものだと思います。

僕も宮城県の丸森町という農村地域出身だからこそ共感できたのだらうと思いますが、やはり地域の方としっかり仲良くなって助け合うということはかなり重要なのだということを、再確認することができました。僕も地域の方々とおすそ分けなどをして、名前を覚えてもらって良くしていただいたので、勝浦の地域住民の方々と親近感を持つことができたので良かったです。今回の研修では徳島についてや移住について、人についてなど、古民家の改修作業を通して幅広く多くの知識を身に着けることができました。石川ご夫妻や役場の北峰さんや地域の方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。